

# 一の宮っ子

第4号

発行  
一宮市児童育成連絡協議会

事務局  
一宮市社会福祉センター  
思いやり会館内・2階  
一宮市桜1丁目12番1号  
TEL・FAX 0586-73-0356

平成19年3月24日



## 新年子ども会大会

平成十九年一月六日 市民会館

新年子ども会大会に参加して

丹陽連区 伝法寺新田子ども会

六年 古田 和輝

一月六日に一宮市新年子ども会大会がありました。ほくほ、第三部のはじめのことばを言う大役でした。当日あがってしまったり、忘れてしまわなように、家で何回も練習を

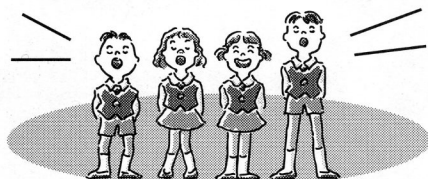
し暗唱をしました。

一宮市民会館に着いて、始める前にも練習をしました。その時、ゆっくりと大きな声でという指導を受けました。原稿を見てもいいとも言われたので、少し気が楽になりました。第三部が始まって、はじめのことばを言い終わったらホッと思いました。その後のあそ

びの発表は楽しく見る事ができました。抽選会では当たらなくて残念だったけれど、とても貴重な体験ができました。



▲受付はこちらで一す!ちゃんと並んでね



みんなが一つになって

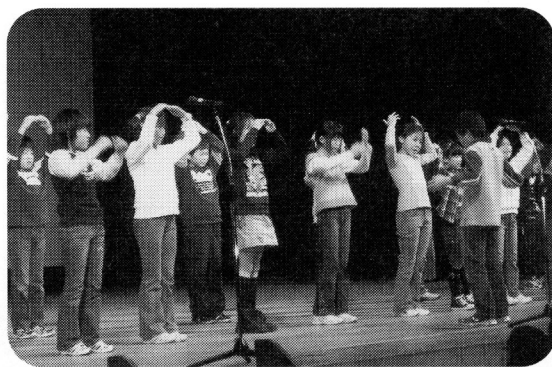
千秋町連区 南佐野子ども会

六年 貴田由佳子

私たちが千秋子ども会は『ピリッ』『幸せなら手をたたこう』の手話合唱を発表しました。

始めのころの練習はみんなバラバラで、当日も不安を残したまま、会場に向かいました。リハーサルの前も全員で一度練習をしました。その時は、みんな楽しそうに笑ってやっていました。でも、リハーサルが始まるとやっぱりきん張して、笑顔が消えてしまいました。

そんな中での本番直前、手話の動きを最終確認した時、一人の子が「最後の『ありがとうございました』を手話でやったら?」と言いました。すぐに、みんなで『ありがとうと



うございました」を手話でやることに決めました。そして本番、何とかきん張も解けて、無事最後までやり終ることができました。終わった後にはみんな「上手にできたね。」「ちよつとまちがえたあ。」「と楽しそうに話していました。最初はバラバラだったみんなの気持ちが一つになつてできたような気がして、うれしくなりました。全員満足のできる、楽しい思い出になりました。

子ども会大会に参加して

木曾川地区 駅西子ども会

六年 岩瀬 直広

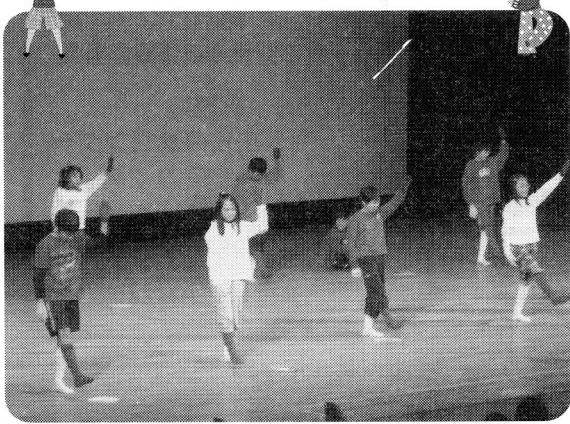
一月六日におこなわれた大会に今回初めて参加しました。人の多さにまぶさびっくりしました。三宅おじさんのレクリエーションでは、たくさんの人たちが、そろって参加できる遊びがいろいろあるんだなと感心しました。でも少し時間が長くかかったので、もう少し早く進行すればよかったです。思います。



「ビリーブ」  
子どもの力を信じて」  
千秋町連区 新いづみ子ども会  
吉田 雅子

手話クラブに籍を置く生徒が殆どとは言え果たして大きな舞台で、ちゃんと披露して降りて来られるだろうか？ 立ちすくみはしないかしら？等、我々大人の心配を見事に吹き飛ばしてくれました。千秋の十三人の子も達は「ビリーブ」の題名通り「私達を信じて！」と手どころか体全体を使い、メッセージを発信。昨年の秋頃から、やっと始めた十分とはいえない練習の中で、皆少しずつ自信をつけて来たんだね。「おぼさん、私たち大丈夫だよ！」

▼赤下げないで、赤あげない？

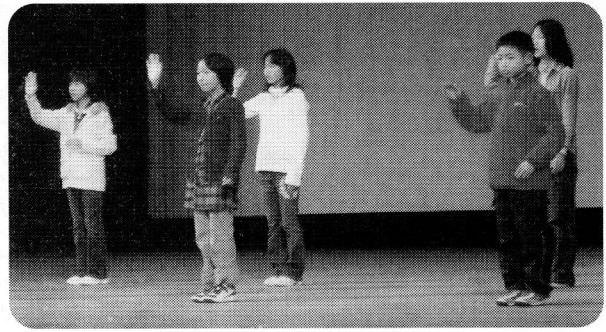


私は初めて出席させて頂いて、まず驚いた事は、子ども達で、司会進行を行っている事でした。緊張している素振りも見せず、しっかりとした大きな声で一生懸命に頑張っている姿が印象的でした。それから、遊びの発表では、手話をしながら歌を歌ったり、旗上げゲームでは、体全体を使って、手足に、白や黄・青・赤の手袋や靴下を履いて、「一人の人が「赤上げて！」とか声を掛

「二宮市新年子ども会  
大会に出席して」  
丹陽町連区 外崎子ども会  
大橋かおり

この言葉に何度励まされた事でしょう。「ここの挨拶をこう変えたいんだけど」の申し出も当日に有りました。新しい年に、市民会館の文字通り大舞台に立った経験は、これから伸びていく子ども達に大きなプラスになったと思います。また、私達へのお年玉にもなりましたね。全体を見ても、ジュニアリーダーの方々の司会進行や他の子ども会さんの頑張りに少し胸が熱くなりました。君達みんな、とっても素敵だったよ！

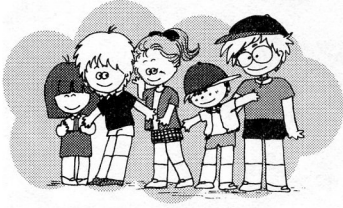
▼手話でのメッセージはみんなの胸に届きました



けてゲームをして行くのですが、その後、「色を混ぜて！」と言いつつ、「ピンク！」と言うと、白と赤を上げて色を作っていくのです。手や足を二本同時に上げないといけないので、「なかなか良いアイデアだな〜」と思ひ、やはり他の子ども会がどの様な遊びをしているのかとても参考になりました。最後に、三宅おじさんが出て来られた時、子ども達は生き生きとした目をして、今から何をするのか、ワクワクしていた姿が見られ会場の人達皆、一点に集まり、さすがだと思いました。これから、子ども達と役員一同、楽しめる子ども会作りをして行きたいと思

「二宮市新年子ども会  
大会に出席して」  
木曾川地区 駅西子ども会  
岩瀬由加利

この度、木曾川地区として1月6日に一宮市民会館で開催された子ども会大会に親子で参加させていただきました。千人以上という規模、そして大会の中で紹介される子ども会活動に対する市民の方の熱意など、大変に驚かされ、又、木曾川地区としてその意識の高さを見習っていかなければならぬと痛感いたしました。特に、三宅おじさんによるレクレーションでは、それまで退屈そうにしていた子どもたちも生き生きと目を輝かせ、積極的に参加する姿が大変印象的でした。昨今、子ども会を運営している私達育



▲中学生の演奏はカッコよかったです

成者が、やはり一番に頭を悩ますのは、いかに全学年の子ども達を、学年の違いをこえて活動に積極的に参加してもらうかという事だと思ひます。そのヒントを今回の大会でいただけたと思ひました。あと1年、私は役員としての任期がありますが、一宮市民の一人として頑張っていきたいと思ひます。





♡ 良かった点

- ◎ テレビゲーム、外で遊ぶ子どもが少ない中、親と子どものコミュニケーションの大切さを感じ、手作りゲーム（新聞紙を丸めて行うゲーム）など昔、私達が楽しかったなと思った事を行ってみました。子ども達も喜び参加でき良かったです。
- ◎ お金を使うだけの行事だけでなく、子どもの意見を尊重したり、元氣良く外で遊ぶのも取り入れられて良かったです。
- ◎ 初めは、何もわからない状態から会議等に出席し、いろいろなよきアドバイスを受けて、各単子に持ち帰り、スムーズに行事を行進していった。
- ◎ 子どもの顔と名前が覚えることができたし、子ども達にもいろいろな事を教えてもらい、親も成長することができた。



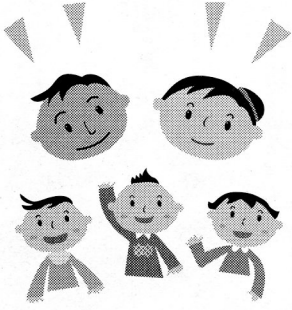
◎ 町内の人と一緒に行事を行い、知り合える機会が持てた事、協力してくれる人が増えてきた事が良かった。

◎ 地域の人々と交流する事で色々な意見が聞け、プラスになった事がいろいろありました。

◎ 少人数だが一人一人の声を聞き、行事計画を立て、行事を進めて、楽しくできて良かった。

◎ 仕事を持つ母親が増え、行事に父親の協力が得られた事は、とても良かった。

◎ 違う学年の子ども達とのふれ合いにより、横だけでなく、縦つながりができた。



★ 問題点

◎ 子ども達の人数が急激に増加し活動が困難になり、どこまで注意したら良いのかわからない。

◎ 国際的になり言葉が通じない、説明するのに少し難しい事がある。

◎ 大人の都合で子ども会行事に参加することが少なくなっている。

◎ ラジオ体操は、不審者の件もあるので、6時半に子どもだけで参加するのはどうか。

◎ たくさんのお父さん、お母さんに参加してもらいたい。

◎ 6年生になると脱会を考える人がいる為、歯どめをしたい。

◎ 例年通りになると楽に出来るが、それでいいのか。

◎ 行事の為に時間をとる意識が少ない。（親子）

◎ 子ども達が習い事を優先する為、子ども会離れになってきている。行事の日程等の見直しも必要だと思う。

◎ 子ども会費の使い方に町内から意見が出る。

◎ 活動に集中しなくなると、持って来たゲーム機で遊び始めるので注意するが、止めようとしなない。



▼ たくさんの方に参加していただきました



！助言

○子どもの意見も取り入れる  
○子ども会は、子どもの為にある

○指導者が中心で進められている。子ども会は何の為にあるのか

○役員は1人ではかかえこまざるまわりの人の協力を求める  
○目的達成はみんなで協力して、基本は楽しく、安全に活動できればよいと考える

○市の補助金の額も変わり大変な子ども会もあると思う。  
また、役員の問題地域の問題といろいろなあるが、意識を持って協力してほしい。  
○一年間の悩み事は、自分だけで終わるのではなく良い点、問題点も引き継ぎをするとうい。



研修会



×反省点

○協力者は同じ人ばかりに片寄ってしまった。  
○高学年が低学年をリードすることができなかった。  
○子ども達が空時間を作らない様な活動の進行ができなかった。  
○役員同志のつながりが上手くできなかった。

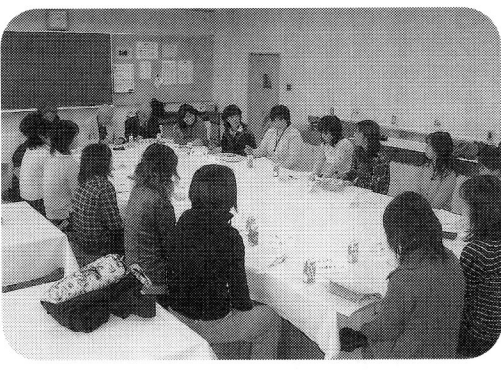


五つの分科会で出た意見の概要を掲載しました。今後の子ども会活動の、参考にしたいだけだと思います。

代表者研修会に参加して

浅井町連区 尾関美津子

9月に行われた研修会には仕事の都合で参加していなかったたので、今回初めてこの合同研修会に参加しました。テーマは「二年間を振り返って感じたこと」ということで、いろんな話を聞くことが出来ました。会員数が少なく子ども会活動を休止される単子さん、少なくとも指導者さん達が、本当に協力しあって、この一年間活動された単子さん、本当に子ども達と向き合っていて楽しんで活動してきた指導者の方のお話がきくことができ、よかったですと思います。  
私自身を振り返ると、連区行事では、大会本部の役員となり自分の単子の事は他の指



導者の方へお任せでありわかっていないなど反省する点が多かったです。  
それでもこんな私についてきてくださった役員の方達には、この一年間ありがとうございましたと言いたいです。



一宮市児童福祉週間運動実施期間

平成19年5月5日(土)～11日(金)

平成19年度の標語決定

最優秀作品  
見つけよう  
みんながもつてる  
いいところ  
(松堂一成 10歳)  
沖縄

この作品は、児童福祉の理念を広く啓発する標語を全国募集した中から主催者で選考した結果、児童福祉週間の標語と決定いたしました。

入選作品

- ひろげよう わたしのえがお みんなのえがお 沖縄
- 「ありがとう」 生まれてきたこと 生きること 東京
- 育てよう かがやく瞳とやさしい心 東京
- もらったら あげたくなるよ やさしい気持ち 愛知
- ひとり一人がだいじだいじ 香川

行事予定

\*平成19年度一宮市子ども会指導者研修会  
4月29日(日)

編集後記

もうすぐ春です。年度の変わり目が近づいております。楽しい仲間との別れと出会いの季節でもあります。皆さん二年間お疲れ様でした。第一号より原稿を寄せて下さった皆さんの方々ありがとうございました。  
今後とも地域の子どもの活動をお寄せ下さい。  
子ども達とのふれ合いで得た色々な経験を生かして行って下さい。

広報委員

- 馬場あや子 渡部規子 木全恵美子 田中比登美 棚橋久美子 西山和代 加藤明子 平松雅美